

総説

総 説

奈良県の沿革	1
県政 奈良県政年表	4
市町村変遷表	6
行政区画	10
位置、面積	10
地形	11
気象	12
人口	13
産業	15
農業	17
林業	18
工業	19
商業	20
文化・観光	21
主要山岳一覧表	23
主要河川一覧表	24

奈良県の沿革

紀元前3世紀頃、日本列島に稲作がもたらされると奈良盆地は豊かな米作地帯となった。大陸の高度な文化はこの地に開花し、大和の地は我が国の政治・文化の中心地として中国にならぬ、都城藤原京(694年)・平城京(710年)が造られ、飛鳥・白鳳・天平の輝かしい文化が醸成された。

その後、都が平安京に移ったため、一時平城の都はさびれたが、やがて社寺中心に甦り、鎌倉時代には、大和の国は興福寺・春日大社の荘園で占められるまでになった。

戦国時代、この大和の地も戦乱が絶えることなく、幾多の興亡が繰り返されたが、その後織田信長の庇護のもとにあった筒井氏が大和を統一した。

江戸時代には、綿花・菜種・小豆などの商品作物や、三輪そうめん・吉野葛・宇陀紙・奈良晒・大和絣・吉野杉などの特産品が、隣接する大消費地大坂・京都に運ばれ大和に富



大和三山

をもたらした。

明治維新を迎えると、慶応4年1月に大和鎮台が設置され、以後、行政区画の改廃が繰り返されたが、明治4年には大和国を統一した奈良県が成立した。しかし、明治9年堺県に合併、さらに明治14年には大阪府に合併とめまぐるしく変化し、その中で、大和の人々は奈良県の再設置を粘り強く求めつづけた。ついに、明治20年11月4日、奈良県の誕生を迎えることができた。明治21年1月9日には第1回奈良県議会が東大寺大仏殿回廊において開かれている。

明治22年4月1日の町村制施行当時、10町142村2組合村で、人口は50万人ほどであった。その後県勢の発展にともない昭和30年前後に、市町村合併が促進され、現在は、9市21町17村で、人口は137万人となっている。

奈良県は、気候・風土に恵まれているものの、海が無く、河川に乏しいという条件もあっ

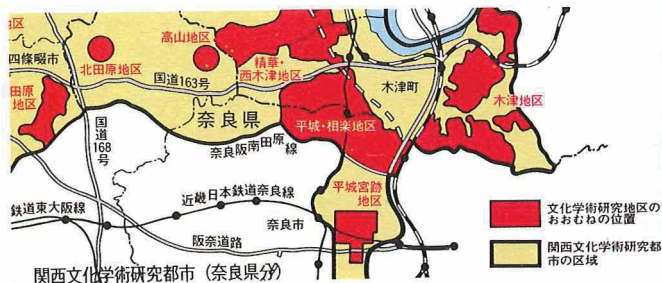


新旧県庁舎(昭和40年)

て明治以降も農業・林業が産業の中心であったが、昭和38年から始まった奈良県新総合開発計画をはじめとする県勢の振興計画による産業基盤の整備や公害のない工場の誘致等により急速に工業化・都市化が進み、昭和60年の国勢調査での就業者は大正9年を100とすると農業は30.4と減少し、逆に製造業は377.9と4倍近く増加している。人口も大都市、大阪等のベッドタウンとして急増してきたが、最近はやや伸び率が鈍化している。

本県の主な事業として昭和40年新県庁舎竣工、59年わかくさ国体、62年置県100年、63年'88ならシルクロード博を開催。

そして現在、奈良県長期基本構想に基づき事業を積極的に実施し、特に奈良県、京都府、大阪府にまたがる京阪奈丘陵において関西文化学術研究都市の建設を進め、シルクロード学の拠点づくりや、リニア中央新幹線の建設促進と奈良市に停車駅が設置されるよう総力を挙げて取り組むなど、奈良県は着々と国際文化観光・平和県の舞台を広げている。



リニアモーターカー実験車両

県政

奈良県政年表

西 暦	年 月 日	事 項
1868年	慶応4年1月21日	大和鎮台が設置され、のち2月1日大和国鎮撫総督府と改称した。
	5月19日	奈良県を設置。(知県事に春日仲襄)
	7月29日	奈良県は奈良府と改称した。
	明治元年9月8日	明治と改元。
1869年	2年6月17 ~24日	各藩は版籍を奉還し、それぞれ旧藩を県とし知藩事を置く。(郡山県——柳沢氏15.1万石、高取県——植村氏2.5万石、柳本県・芝村県——織田氏各1万石、橿羅県——永井氏1万石、小泉県——片桐氏1.1万石、柳生県——柳生氏1万石、田原本県——平野氏1万石の8県)
	7月17日	奈良府は奈良県と改称した。
1870年	3年2月27日	奈良県・堺県の1部を合わせ五條県を設置した。
1871年	4年7月14日	廃藩置県により、大和国内に奈良・五條・郡山・高取・柳本・芝村・橿羅・小泉・柳生・田原本・和歌山・津・久居・壬生・大多喜の15県が成立した。
	11月22日	大和国一円を管轄する奈良県を設置、県内を添上・添下・平群・山辺・式上・式下・十市・宇陀・高市・広瀬・葛下・葛上・忍海・宇智・吉野の15郡に分ち統轄した。(県令に四条隆平) このとき本県の戸数は95,866戸、人口418,326人となっている。
1876年	9年4月18日	堺県と合併される。
1881年	14年2月7日	堺県が大坂府に合併される。大和15郡を4連合郡役所で所管。
	11月29日	大和国一覧表によれば15郡261町1333村で戸数99,005戸、人口476,709人となっている。
1887年	20年11月4日	大坂府から分離して奈良県が再設置された。
	12月1日	奈良県開庁。(知事に税所篤)
1888年	27日	第1回奈良県議会議員35名の当選告示。
	21年1月9日	第1回奈良県議会が東大寺大仏殿回廊において開かれた。
1889年	22年4月1日	町村制が施行された。10町142村2組合村。

西 暦	年 月 日	事 項
1895年	明治28年12月15日	県庁舎が落成し移庁式を奉行する。
1897年	30年8月1日	郡制が実施され、添上、山辺、宇陀、高市、宇智、吉野の各郡の他、添下・平群を合わせて生駒郡、式上・式下・十市を合わせて磯城郡、広瀬・葛下を合わせて北葛城郡、葛上・忍海を合わせて南葛城郡とし、以上10郡となり各郡に郡役所が置かれた。
1898年	31年2月1日	市制の施行で添上郡奈良町が県内初めての市（奈良市）となる。
1926年	大正15年7月1日	郡役所廃止。
1942年	昭和17年7月1日	県内7ヶ所に地方事務所設置。
1947年	22年4月15日	初の公選知事選挙が行なわれた。
1955年	30年9月17日	地方事務所を廃止。
1956年	31年10月	吉野熊野特定地域総合開発計画が閣議決定された。
1963年	38年11月	奈良県新総合開発計画を策定した。
1965年	40年3月18日	新県庁舎竣工。
1968年	43年3月	第2次奈良県新総合開発計画を策定した。
1973年	48年3月	奈良県長期基本計画（第3次）を策定した。
1978年	53年3月	奈良県長期基本計画（第3次）〔修正計画〕を策定した。
1984年	59年4月 9・10月	奈良県長期基本構想を策定した。 わかさ国体を開催した。
1986年	61年4月1日	町制施行により、9市21町17村となる。
1987年	62年11月4日 12月1日	奈良県置県100年を迎えた。 第200回奈良県議会を開催した。
1988年	63年3月28日 4～10月	関西文化学術研究都市（奈良県域）の建設に関する計画が内閣総理大臣の承認を得た。 なら・シルクロード博を開催した。

市町村変遷表 (つづき)

北	南	月	針	都	東	波	豊	明	三	龍	法	富	安	川	三	田	平	川	都	多	松	政	神	宇	宇	榛	伊	内	室	三	東	曾	御	高	越	船	阪	高	飛			
生	生		ケ	介	多	原		明	隆	隆		郷	郷	塔	西	宅	原	野	東		山	始	戸	賀	賀	那	那	牧	生	本	里	爾	爾	智	倉	合	市	鳥				
駒	駒	所	野	野	村		治	郷	寺	寺	村	村	村	村	村	村	町	村	村	村	町	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村	村		
生駒町 (大10)							平群村 (明29)	龍田町 (明24)										大字陀町 (昭17)																								
生駒市																																										

